|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 令和５年度　西尾市高齢者虐待防止協議会（兼西尾市地域包括ケアシステム推進会議高齢者専門部会） |
| 日時 | 令和５年８月９日（水）午後１時３０分～２時４０分 |
| 場所 | 西尾市役所 ５１ＡＢＣ会議室（５階） |
| 出席者 | 委員１９名、事務局７名 |
| 傍聴者 | なし |
| 協議事項 | ※各議題は事務局から説明〇西尾市における高齢者虐待の状況について令和４年度の相談通報件数３９件、待判断件数６件、被虐待者の性別は女性７割、被虐待者の年齢は８０歳～８４歳が最も多い。〇在宅医療と介護の連携に関すること在宅医療介護連携支援センターを長寿課内に設置。昨年10/16に在宅医療市民フォーラムを開催。市民に在宅医療と介護のことを知ってもらうのが狙い。今年は10/15に開催予定、テーマは「リハビリ」〇認知症総合支援の施策に関すること昨年度、チームオレンジを設立、劇団「うねぎのねどこ」を立ち上げ、寸劇を通して認知症理解への普及促進を図っている。〇地域ケア会議の推進に関すること地域の様々な関係者が協働し、高齢者の生活を地域全体で支援していくことを目的としている。個別事例、地域課題、多職種協働カンファレンスを実施。〇生活支援サービスの体制整備に関すること高齢者生活支援体制整備事業について説明。現在サービスを実施する「高齢者支え隊」の登録人数は150名。支え隊を母体として第３層協議体を設置し、団体での活動を行う。令和５年度の登録団体数は17団体。 |
| 質疑応答 | Ｑ）在宅医療介護連携支援センターへの相談について、昨年度は何件、又どんな内容か？Ａ）件数は827件。主に専門職からのICTに関するもの。他に市外の総合病院からの相談で、転院するうえで本市の在宅医療実施機関の問い合わせ、一般の方からは「在宅で医療を受けるにはどうしたらいい」といった相談が多い。Ｑ）生活支援サービスの依頼件数としてどんな内容が多いか？Ａ）話し相手が多いが、中には緊急支援として台風時の雨戸の戸締りなど |